R

変額個人年金保険GF(Ⅳ型)〈年金原資保証特約(Ⅳ型)付加〉

とどくんですプレミア
2019年度 特別勘定の現況

●投資環境(2019年度)

日本株式市場

当年度、国内株式市場は、前年度末対比下落しました。
期初、米中貿易協議の進展期待から、国内株式市場は上昇して始まりましたが、米国による対中追加関税の実施や円高の進行が嫌気されて2019年8月にかけて下落基調となりました。しかし、その後は米中貿易協議再開の観測やECB（欧州中央銀行）による量的金融緩和の再開などを受けて国内株式市場は持ち直し、FRB（米連邦準備制度理事会）による利下げも追い風となり、年末にかけて堅調に推移しました。2020年に入ってからは新型肺炎の感染拡大による景気減速懸念から、国内株式市場は下落に転じ、期末にかけては、欧米諸国でも新型肺炎の感染が拡大したことや原油価格の下落などが悪材料視されて、急落しました。

外国株式市場

当年度、外国株式市場は前年度末対比大幅に下落しました。
期の前半は、2019年3月の米国ISM（供給管理協会）製造業景況感指数が事前予想を上回るなど堅調な経済指標が好感される一方で、米中貿易摩擦の激化が懸念され、外国株式市場はおおむね横ばいで推移しました。
期の後半は、FRBによる利下げや米中貿易協議進展への期待などから、外国株式市場は上昇する局面もありましたが、期末にかけて新型肺炎の感染拡大が世界経済に悪影響を及ぼすとの見方が広がり、急落しました。

日本債券市場

当年度、10年国債利回り（国内長期金利）は上昇しました。
期初、-0.08%程度の水準であった10年国債利回りは、米中貿易摩擦の激化などを背景とした欧米長期金利の低下を受けて、2019年8月下旬には一時-0.28%を下回る水準まで低下しました。しかし、その後は米中貿易問題や英国のEU（欧州連合）離脱問題に好転の兆しが見え始めるなか、日銀による追加金融緩和期待の後退などから10年国債利回りは上昇基調で推移しました。期末にかけては、新型肺炎の世界的な感染拡大に対する措置として、FRBが緊急利下げに踏み切ったことなどを背景に変動の激しい市場環境が継続し、10年国債利回りは0.03%程度の水準で期を終えました。

外国債券市場

当年度、米10年国債利回りは大幅に低下しました。
期初、米中貿易摩擦への懸念が高まるなか、FRBによる利下げなどを背景に米10年国債利回りは低下基調で推移しましたが、その後米中貿易協議が第1段階の合意に達したことなどを受けて、年末にかけて上昇基調で推移しました。しかし、2020年初以降世界的な新型肺炎感染拡大に対する措置として、各国中央銀行が緊急利下げを実施したことから、米10年国債利回りは期初の2.41%から0.67%へ大幅に低下して当年度を終えました。
当年度、ドイツ10年国債利回りは低下しました。
期初、欧州の経済指標が低迷したことや、ドラギECB総裁がさらなる金融緩和姿勢を示したことから、ドイツ10年国債利回りは低下基調で推移しました。その後、米中貿易協議の進展などからドイツ10年国債利回りは上昇しましたが、新型肺炎の感染拡大を背景に再び低下に転じ、期初の-0.07%から-0.47%へ低下して当年度を終えました。

外国為替市場

米ドル円相場は、期初から期の半ばにかけて米中貿易摩擦の激化などから円高米ドル安が進行する局面もありましたが、欧米諸国でも新型肺炎の感染が拡大したことや、原油相場の急落を背景に一時急激な円高米ドル安が進行しました。その後は米国の景気刺激策への期待感などから、期末にかけて円安米ドル高が進みましたが、期初からは円高米ドル安の水準で期を終えました。
ユーロ円相場は、新型肺炎の感染者が欧州で急増するなか、円高ユーロ安が進行しました。

●運用実績の推移および運用方針

①当期の運用実績の推移	各特別勘定の運用状況をご参照ください。
②当期の運用方針	当社は、各特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を実施しました。
③今後の運用方針	当社は、今後とも、各特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を行う方針です。

当社は2019年度決算(決算日：2020年3月31日)を行いました。当資料は2019年度の運用状況をご報告するものです。
3ページ以降は特別勘定レポート(2020年4月発行(2020年3月末現在))からの抜粋となります。最新の運用状況は当社ホームページにてご確認いただけます。

B2005024-000

●特別勘定資産の内訳（2019年度末）

（単位：百万円）

区分	金額		
	Rバランス20	Rバランス40	Rバランス60
現預金・コールローン	0	0	2
有価証券	0	0	0
公社債	－	－	－
株式	－	－	－
外国証券	－	－	－
公社債	－	－	－
株式等	－	－	－
その他の証券	0	0	0
貸付金	－	－	－
その他	52	9	59
貸倒引当金	－	－	－
合計	52	10	62

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況（2019年度）

（単位：百万円）

区分	金額		
	Rバランス20	Rバランス40	Rバランス60
利息配当金等収入	－	3	0
有価証券売却益	－	－	－
有価証券償還益	－	－	－
有価証券評価益	0	－	－
為替差益	－	－	－
金融派生商品収益	－	－	－
その他の収益	－	－	－
有価証券売却損	－	－	6
有価証券償還損	－	－	－
有価証券評価損	0	0	0
為替差損	－	－	－
金融派生商品費用	－	－	－
その他の費用及び損失	－	－	－
収支差額	0	2	−7

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況（2019年度）

（単位：千口、千円）

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
Rバランス20	Rインデックス・バランス20VA（適格機関投資家限定）	－	－	－	－
Rバランス40	Rインデックス・バランス40VA（適格機関投資家限定）	94,202	133,810	103,209	146,178
Rバランス60	Rインデックス・バランス60VA（適格機関投資家限定）	175,155	215,080	192,260	235,116

※単位未満切捨て

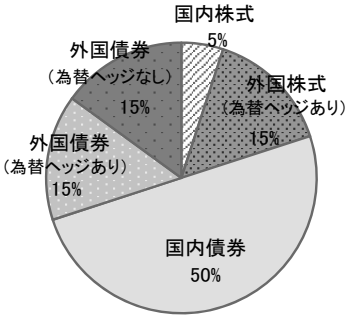
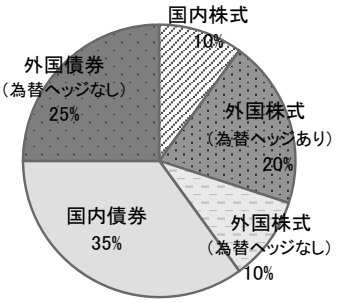
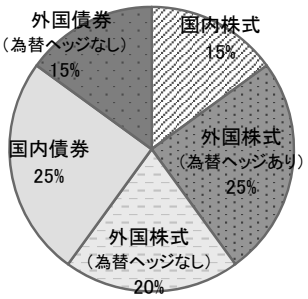
●保有契約高（2019年度末）

（単位：件、百万円）

項目	件数	金額
変額個人年金保険GF（Ⅳ型）〈年金原資保証特約（Ⅳ型）付加〉 とどくんですプレミア	11	61

※単位未満切捨て

特別勘定の内容

特別勘定の名称	Rバランス20	Rバランス40	Rバランス60
特別勘定の運用方針	主な投資対象となる投資信託を通じ、実質的にデリバティブ取引等を活用して国内外の株式および債券等の値動きに連動する運用を行い、中長期的な財産の成長を目指します。		
	基本資産配分は国内株式5%、外国株式（為替ヘッジあり）15%、国内債券（短期金融資産を含む）50%、外国債券（為替ヘッジあり）15%、外国債券（為替ヘッジなし）15%です。	基本資産配分は国内株式10%、外国株式（為替ヘッジあり）20%、外国株式（為替ヘッジなし）10%、国内債券（短期金融資産を含む）35%、外国債券（為替ヘッジなし）25%です。	基本資産配分は国内株式15%、外国株式（為替ヘッジあり）25%、外国株式（為替ヘッジなし）20%、国内債券（短期金融資産を含む）25%、外国債券（為替ヘッジなし）15%です。
主な投資対象となる投資信託と運用会社			
	Rインデックス・バランス20VA*1	Rインデックス・バランス40VA*1	Rインデックス・バランス60VA*1
	アムンディ・ジャパン		
上記投資信託の投資対象となる外国投資法人	グローバル・トラッカー・ポートフォリオⅡ*1*2		
上記外国投資法人の投資管理会社デリバティブ取引等の相手先	シェア・クラスⅠ（グローバル・トラッカーⅡ20）	シェア・クラスⅠ（グローバル・トラッカーⅡ40）	シェア・クラスⅠ（グローバル・トラッカーⅡ60）
	アムンディ・ルクセンブルク・エス・エー*5 ゴールドマン・サックス・インターナショナル		
設定日	2010年3月11日	2013年3月29日	2014年11月28日
移転条件*3	積立金額が基本保険金額の110%未満	積立金額が基本保険金額の110%以上120%未満	積立金額が基本保険金額の120%以上
資産運用関係費用	年率0.19418%（税込）程度*4		

＊1 適格機関投資家限定

＊2 グローバル・トラッカー・ポートフォリオⅡは、ルクセンブルク籍の外国投資法人（専門投資信託）であるスペシャライズド・インベストメンツSIF内のポートフォリオで、上記の基本資産配分に応じた3つのシェア・クラス（グローバル・トラッカーⅡ20、同40、同60）を発行します。
上記の基本資産配分に応じた3つのシェア・クラス（グローバル・トラッカーⅡ20、同40、同60）を発行します。このポートフォリオには投資顧問会社は指名されておりません。なお、規定された投資方針に基づいた資産投資事務の遂行を投資管理会社が委託されて行います。

＊3 移転条件とは基本保険金額に対する積立金額の所定の割合により3つの特別勘定間で積立金を自動的に移転する条件をいいます。

＊4 資産運用関係費用は、「Rインデックス・バランス20VA」の信託報酬率　0.11418%（税抜0.1038%）と「グローバル・トラッカー・ポートフォリオⅡ」の信託報酬率 0.08% の合計を記載しています。
Rインデックス・バランス40VA、Rインデックス・バランス60VAの信託報酬率は、Rインデックス・バランス20VAと同率です。
信託報酬の他、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。またこれらの費用は投資信託（外国投資法人を含む）の純資産総額より差し引かれます。
したがって、ご契約者さまはこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

＊5 2019年6月3日付で投資管理会社がアムンディ・ルクセンブルク・エス・エーに変更となりました。

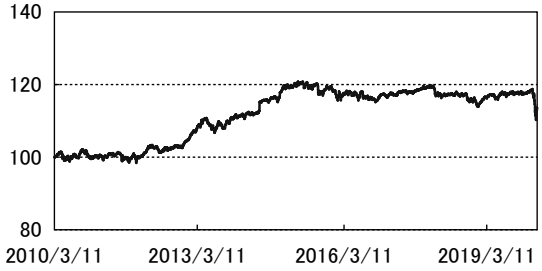
・変額個人年金保険GF(Ⅳ型)<年金原資保証特約(Ⅳ型) 付加>は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組入ファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

特別勘定の運用状況

2020年3月末現在

Rバランス20

●ユニットプライスの推移



●特別勘定　純資産総額の内訳 ※2

	金額(百万円)	構成比
投資信託	0	98.2%
現預金その他	0	1.8%
純資産総額	0	100.0%

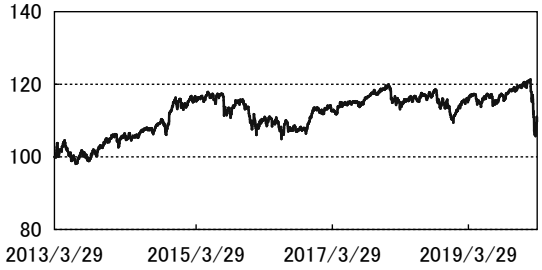
●ユニットプライスの期間収益率 ※1

	ユニットプライス	前月比
2019年4月30日	117.26	0.20%
2019年5月31日	116.23	−0.87%
2019年6月30日	117.20	0.84%
2019年7月31日	117.79	0.50%
2019年8月31日	117.47	−0.27%
2019年9月30日	117.93	0.40%
2019年10月31日	117.64	−0.25%
2019年11月30日	118.13	0.41%
2019年12月31日	117.66	−0.39%
2020年1月31日	118.03	0.31%
2020年2月29日	117.43	−0.51%
2020年3月31日	113.29	−3.53%

1か月	3か月	6か月	1年	設定来
−3.53%	−3.72%	−3.94%	−3.18%	13.31%

Rバランス40

●ユニットプライスの推移



●特別勘定　純資産総額の内訳 ※2

	金額(百万円)	構成比
投資信託	0	95.0%
現預金その他	0	5.0%
純資産総額	0	100.0%

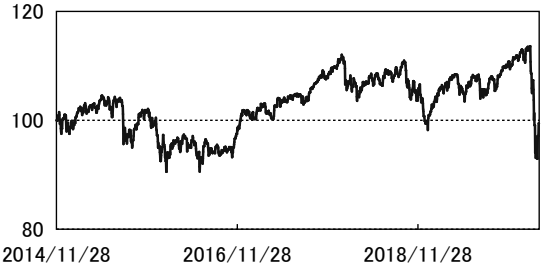
●ユニットプライスの期間収益率 ※1

	ユニットプライス	前月比
2019年4月30日	117.27	1.29%
2019年5月31日	114.66	−2.23%
2019年6月30日	115.98	1.15%
2019年7月31日	117.27	1.11%
2019年8月31日	115.00	−1.94%
2019年9月30日	116.98	1.72%
2019年10月31日	117.88	0.77%
2019年11月30日	119.11	1.04%
2019年12月31日	119.67	0.47%
2020年1月31日	119.65	−0.01%
2020年2月29日	117.88	−1.48%
2020年3月31日	109.74	−6.90%

1か月	3か月	6か月	1年	設定来
−6.90%	−8.30%	−6.19%	−5.22%	9.75%

Rバランス60

●ユニットプライスの推移



●特別勘定　純資産総額の内訳 ※2

	金額(百万円)	構成比
投資信託	0	0.1%
現預金その他	61	99.9%
純資産総額	61	100.0%

●ユニットプライスの期間収益率 ※1

	ユニットプライス	前月比
2019年4月30日	108.38	2.23%
2019年5月31日	104.88	−3.23%
2019年6月30日	106.52	1.56%
2019年7月31日	108.38	1.75%
2019年8月31日	104.67	−3.43%
2019年9月30日	107.44	2.64%
2019年10月31日	108.91	1.37%
2019年11月30日	110.74	1.68%
2019年12月31日	111.87	1.02%
2020年1月31日	111.53	−0.30%
2020年2月29日	108.58	−2.65%
2020年3月31日	99.42	−8.43%

1か月	3か月	6か月	1年	設定来
−8.43%	−11.12%	−7.46%	−6.22%	−0.57%

※1　ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。前月比および期間収益率は、小数点第3位を四捨五入しています。
　　ユニットプライス(単位価格)とは、各特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。
※2　金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

・変額個人年金保険GF(Ⅳ型)<年金原資保証特約(Ⅳ型) 付加>は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組入ファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

組入投資信託の運用状況

【特別勘定の名称】	【特別勘定が投資する投資信託の名称】
Rバランス20	Rインデックス・バランス20VA＜適格機関投資家限定＞

2020年3月31日現在

【主要投資対象】

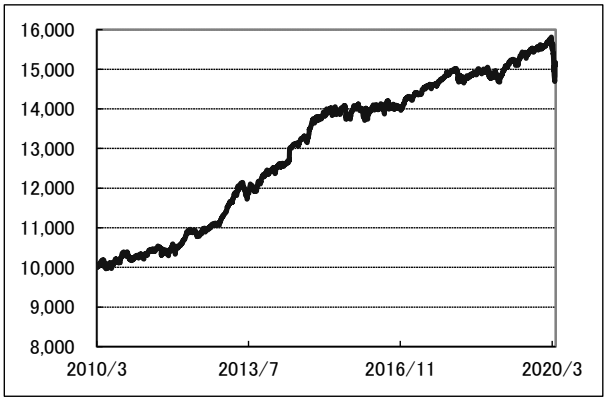
デリバティブ取引等を活用して実質的に国内外の株式先物及び債券先物指数等の値動きに連動することを目標として運用を行う外国投資法人「スペシャライズド・インベストメンツSIF」のサブ・ファンドである「グローバル・トラッカー・ポートフォリオⅡ シェアクラスⅠ（グローバル・トラッカーⅡ20）」の投資証券への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長を目指します。

【運 用 方 針】

「グローバル・トラッカー・ポートフォリオⅡ シェアクラスⅠ（グローバル・トラッカーⅡ20）」の投資証券への投資を通じて、デリバティブ取引等を活用して実質的に国内外の株式及び債券等に分散投資します。実質的な目標資産配分は以下の通りです。対象投資証券が参照する指数バスケットを構成する各資産クラスは、実質的に目標資産配分となるよう対象投資証券において原則として月次で配分調整されます。配分調整後、次回調整日までの期間の資産配分は、各資産クラスの投資成果を反映し目標資産配分から乖離します。

日本株式	外国株式（為替ヘッジあり）	日本債券	外国債券（為替ヘッジあり）	外国債券（為替ヘッジなし）
5%	15%	50%	15%	15%

◆ 基準価額の推移



・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 当月末基準価額・純資産総額

基準価額	15,112 円
純資産総額	1 百万円
設定日	2010年3月11日
決算日	原則 3月10日
信託期間	無期限

◆ 騰落率

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
−3.36%	−3.10%	−2.64%	−0.48%	5.11%	51.12%

◆ ポートフォリオ構成

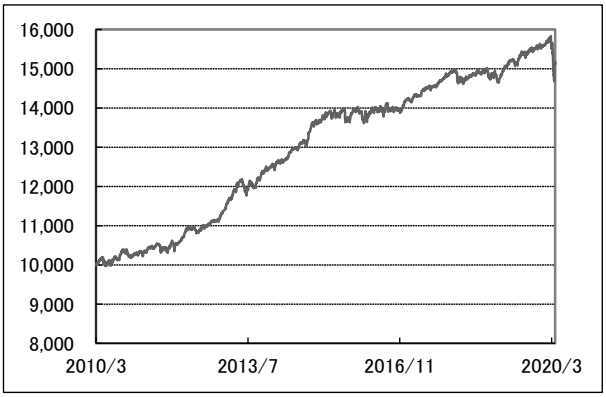
名 称	組入比率
グローバル・トラッカー・ポートフォリオⅡ シェアクラスⅠ（グローバル・トラッカーⅡ20）	3734.75%
現金等	−3634.75%
合計	100.00%

・計理処理の仕組み上、直近の追加設定・解約分が反映されないことなどにより、現金等の比率が大きくプラスになる場合またはマイナスになる場合があります。

当ファンドが主要投資対象とするグローバル・トラッカーⅡ20の運用状況

ファンドの特色・・・スワップ取引及びレポ取引を通じて、日本を含む世界主要国の国債及び株式に対する分散されたエクスポージャーから投資収益を獲得することを投資目的とします。（当投資証券のベンチマークは「グローバル・トラッカー・ポートフォリオⅡのベンチマークについて」に記載）

◆ 基準価額の推移



◆ 当月末基準価額・純資産総額

基準価額	15,114 円
純資産総額	49 百万円

◆ 騰落率

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
−3.44%	−3.15%	−2.66%	−0.38%	5.61%	51.14%

■当資料は当ファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、アムンディ・ジャパン株式会社が作成した資料です。■当資料は各種の信頼できる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料中の運用実績等は過去の実績および結果を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

設定・運用は **アムンディ・ジャパン株式会社**

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、東京海上日動あんしん生命保険株式会社はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

組入投資信託の運用状況

【特別勘定の名称】	【特別勘定が投資する投資信託の名称】
Rバランス40	Rインデックス・バランス40VA＜適格機関投資家限定＞

2020年3月31日現在

【主要投資対象】

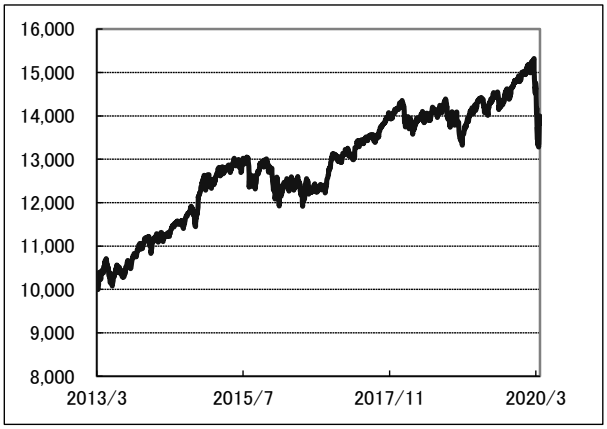
デリバティブ取引等を活用して実質的に国内外の株式先物及び債券先物指数等の値動きに連動することを目標として運用を行う外国投資法人「スペシャライズド・インベストメンツSIF」のサブ・ファンドである「グローバル・トラッカー・ポートフォリオⅡ シェアクラスⅠ（グローバル・トラッカーⅡ40）」の投資証券への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長を目指します。

【運 用 方 針】

「グローバル・トラッカー・ポートフォリオⅡ シェアクラスⅠ（グローバル・トラッカーⅡ40）」の投資証券への投資を通じて、デリバティブ取引等を活用して実質的に国内外の株式及び債券等に分散投資します。実質的な目標資産配分は以下の通りです。対象投資証券が参照する指数バスケットを構成する各資産クラスは、実質的に目標資産配分となるよう対象投資証券において原則として月次で配分調整されます。配分調整後、次回調整日までの期間の資産配分は、各資産クラスの投資成果を反映し目標資産配分から乖離します。

日本株式	外国株式（為替ヘッジあり）	外国株式（為替ヘッジなし）	日本債券	外国債券（為替ヘッジなし）
10%	20%	10%	35%	25%

◆ 基準価額の推移



・基準価額は信託報酬控除後です。
・基準価額は特別勘定の設定日（2013年3月29日）から表示しています。

◆ 当月末基準価額・純資産総額

基準価額	13,823 円
純資産総額	2 百万円
設定日	2010年3月11日
決算日	原則 3月10日
信託期間	無期限

◆ 騰落率

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
−7.01%	−8.03%	−5.13%	−2.63%	5.43%	38.23%

・設定来は、特別勘定の設定日（2013年3月29日）を基準に計算しております。

◆ ポートフォリオ構成

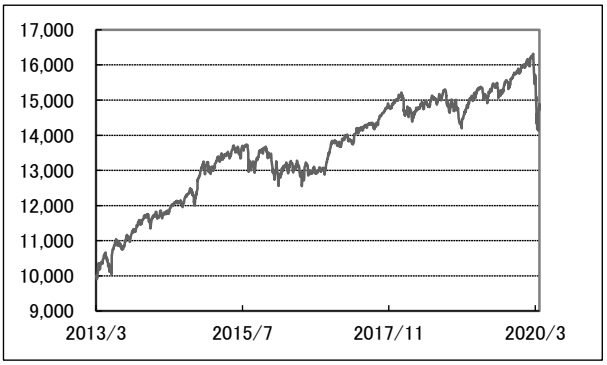
名 称	組入比率
グローバル・トラッカー・ポートフォリオⅡ シェアクラスⅠ（グローバル・トラッカーⅡ40）	460.71%
現金等	−360.71%
合計	100.00%

・計理処理の仕組み上、直近の追加設定・解約分が反映されないことなどにより、現金等の比率が大きくプラスになる場合またはマイナスになる場合があります。

当ファンドが主要投資対象とするグローバル・トラッカーⅡ40の運用状況

ファンドの特色・・・スワップ取引及びレポ取引を通じて、日本を含む世界主要国の国債及び株式に対する分散されたエクスポージャーから投資収益を獲得することを投資目的とします。（当投資証券のベンチマークは「グローバル・トラッカー・ポートフォリオⅡのベンチマークについて」に記載）

◆ 基準価額の推移



◆ 当月末基準価額・純資産総額

基準価額	15,140 円
純資産総額	11 百万円

◆ 騰落率

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
−7.05%	−8.08%	−5.14%	−2.77%	6.09%	47.15%

・設定来は、特別勘定の設定日（2013年3月29日）を基準に計算しております。

・基準価額の推移は特別勘定の設定日（2013年3月29日）を10,000として表示しております。

■当資料は当ファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、アムンディ・ジャパン株式会社が作成した資料です。■当資料は各種の信頼できる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料中の運用実績等は過去の実績および結果を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

設定・運用は **アムンディ・ジャパン株式会社**

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、東京海上日動あんしん生命保険株式会社はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

組入投資信託の運用状況

【特別勘定の名称】	【特別勘定が投資する投資信託の名称】
Rバランス60	Rインデックス・バランス60VA＜適格機関投資家限定＞

2020年3月31日現在

【主要投資対象】

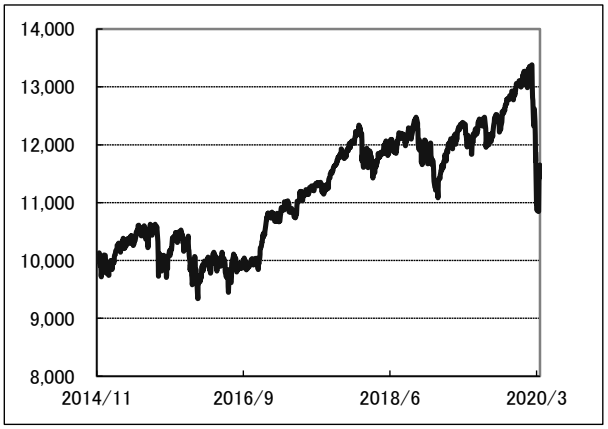
デリバティブ取引等を活用して実質的に国内外の株式先物及び債券先物指数等の値動きに連動することを目標として運用を行う外国投資法人「スペシャライズド・インベストメンツSIF」のサブ・ファンドである「グローバル・トラッカー・ポートフォリオⅡ シェアクラスⅠ（グローバル・トラッカーⅡ60）」の投資証券への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長を目指します。

【運 用 方 針】

「グローバル・トラッカー・ポートフォリオⅡ シェアクラスⅠ（グローバル・トラッカーⅡ60）」の投資証券への投資を通じて、デリバティブ取引等を活用して実質的に国内外の株式及び債券等に分散投資します。実質的な目標資産配分は以下の通りです。対象投資証券が参照する指数バスケットを構成する各資産クラスは、実質的に目標資産配分となるよう対象投資証券において原則として月次で配分調整されます。配分調整後、次回調整日までの期間の資産配分は、各資産クラスの投資成果を反映し目標資産配分から乖離します。

日本株式	外国株式（為替ヘッジあり）	外国株式（為替ヘッジなし）	日本債券	外国債券（為替ヘッジなし）
15%	25%	20%	25%	15%

◆ 基準価額の推移



・基準価額は信託報酬控除後です。
・基準価額は特別勘定の設定日（2014年11月28日）から表示しています。

◆ 当月末基準価額・純資産総額

基準価額	11,439 円
純資産総額	1 百万円
設定日	2010年3月11日
決算日	原則 3月10日
信託期間	無期限

◆ 騰落率

1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
−10.37%	−12.73%	−8.19%	−5.27%	5.08%	14.56%

・設定来は、特別勘定の設定日（2014年11月28日）を基準に計算しております。

◆ ポートフォリオ構成

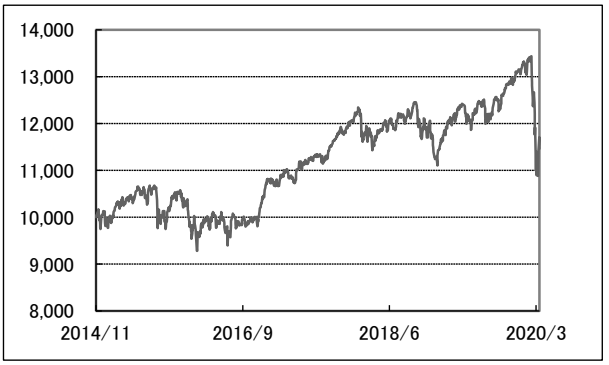
名 称	組入比率
グローバル・トラッカー・ポートフォリオⅡ シェアクラスⅠ（グローバル・トラッカーⅡ60）	78.34%
現金等	21.66%
合計	100.00%

・計理処理の仕組み上、直近の追加設定・解約分が反映されないことなどにより、現金等の比率が大きくプラスになる場合またはマイナスになる場合があります。

当ファンドが主要投資対象とするグローバル・トラッカーⅡ60の運用状況

ファンドの特色・・・スワップ取引及びレポ取引を通じて、日本を含む世界主要国の国債及び株式に対する分散されたエクスポージャーから投資収益を獲得することを投資目的とします。（当投資証券のベンチマークは「グローバル・トラッカー・ポートフォリオⅡのベンチマークについて」に記載）

◆ 基準価額の推移



・基準価額の推移は特別勘定の設定日（2014年11月28日）を10,000として表示しております。

◆ 当月末基準価額・純資産総額

基準価額	13,884 円
純資産総額	1 百万円

◆ 騰落率

1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
−10.54%	−12.89%	−8.30%	−5.33%	5.36%	14.62%

・設定来は、特別勘定の設定日（2014年11月28日）を基準に計算しております。

■当資料は当ファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、アムンディ・ジャパン株式会社が作成した資料です。■当資料は各種の信頼できる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料中の運用実績等は過去の実績および結果を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

設定・運用は **アムンディ・ジャパン株式会社**

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、東京海上日動あんしん生命保険株式会社はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

◆ 「グローバル・トラッカー・ポートフォリオⅡ」のベンチマークについて

2020年3月31日現在

以下、「スペシャライズド・インベストメンツSIF」を「本投資法人」、「グローバル・トラッカー・ポートフォリオⅡ」を「本ポートフォリオ」、「グローバル・トラッカー・ポートフォリオⅡの投資証券」を「本投資証券」、「本投資証券への投資家」を「投資主」、「構成インデックスおよび構成サブ・インデックス」を「先物指数」ということがあります。

◆ グローバル・トラッカー・ポートフォリオⅡのベンチマークは、以下の各インデックスを各比率で合成した複合指数をベンチマークとします。

資産区分	構成インデックス		グローバル・トラッカーⅡ各構成比率		
		構成サブ・インデックス	グローバル・トラッカーⅡ20	グローバル・トラッカーⅡ40	グローバル・トラッカーⅡ60
日本株式	日本株式先物ロール戦略インデックス	－	5%	10%	15%
外国株式（ヘッジあり）	米国株式先物ロール戦略インデックス	－	15%	20%	25%
	欧州株式先物ロール戦略インデックス	－			
外国株式（ヘッジなし）	米国株式先物ロール戦略インデックス	－	－	10%	20%
	欧州株式先物ロール戦略インデックス	－			
日本債券	日本国債先物ロール戦略インデックス	－	50%	35%	25%
外国債券（ヘッジあり）	グローバル国債先物バスケットインデックス	米国国債先物ロール戦略インデックス	15%	－	－
		欧州国債先物ロール戦略インデックス			
		英国国債先物ロール戦略インデックス			
外国債券（ヘッジなし）	グローバル国債先物バスケットインデックス	米国国債先物ロール戦略インデックス	15%	25%	15%
		欧州国債先物ロール戦略インデックス			
		英国国債先物ロール戦略インデックス			

構成インデックスまたは構成サブ・インデックス（併せて「先物指数」）が参照する先物取引が対象とする原資産

◇ 日本株式 ： 日本株式先物ロール戦略インデックス[東証株価指数（TOPIX）]

◇ 外国株式 ： 米国株式先物ロール戦略インデックス[S&P 500 Index]
　　欧州株式先物ロール戦略インデックス[EURO STOXX 50 Index]

◇ 日本債券 ： 日本国債先物ロール戦略インデックス[10年物日本国債]

◇ 外国債券 ： グローバル国債先物バスケットインデックス：構成サブ・インデックス

　○ 米国国債先物ロール戦略インデックス[10年物米国財務省証券]

　○ 欧州国債先物ロール戦略インデックス[ドイツ国債]

　○ 英国国債先物ロール戦略インデックス[英国国債]

＊各先物指数（グローバル国債先物バスケットインデックスを除く）は、上記[ ]内に記載された原資産を対象とする先物取引の直近限月のトータル・リターン（金利付収益）に連動するように開発された指数です。先物指数が参照するのは関連する先物取引の価格であるため、先物指数の値動きは先物取引が対象とする原資産である株価指数または国債の値動きに必ずしも連動するものではありません。また、これらの先物指数が参照する先物取引には四半期毎に満期が到来するため、直近限月の先物取引は一定のルールに基づいて第2限月の先物取引へ乗り替えられます（「ロール」）。このロールに伴って損益が発生する場合があること、またロールに伴う損益、金利その他の要因によって先物指数の値動きが関連する先物取引の値動きと連動しない場合があります。

＊外国株式及び外国債券資産の一部については、上記の指数バスケットに対して実質的にスワップ取引において為替ヘッジを行います。為替ヘッジは部分的に行われ、為替ヘッジの対象となる構成インデックス及び構成サブ・インデックスの加重評価額、日本円マネー・マーケット資産と外貨マネー・マーケット資産のパフォーマンスの差額を用いて計算されます。なお為替ヘッジは構成インデックスまたは構成サブ・インデックスの価額の計算後に適用され、当該価額自体には反映されません。

＜免責条項＞
欧州株式先物ロール戦略インデックス（本段落において以下「欧州株式先物インデックス」といいます）は、ゴールドマン・サックス・インターナショナル（以下「GSI」といいます）に帰属しますが、欧州株式先物インデックスの計算についてはストックス・リミテッド（以下「ストックス」といいます）に委託しております。ストックスは、本投資証券の投資主に対して一切の法的義務を負わず、また本ポートフォリオが発行する投資証券への投資に関する損失または損害に対して、何ら責任を負うことはできません。本投資証券の投資主は、インデックスの計算は第三者機関による膨大なデータに基づくものであり、エラーや遅延の影響を受けやすいことを了承し、同意します。そのため、欧州株式先物インデックスにエラーや遅延が生じる可能性があり、本ポートフォリオが発行するいずれかの種類の投資証券にも影響を及ぼす可能性があります。日本株式先物ロール戦略インデックス、日本国債先物ロール戦略インデックス、米国株式先物ロール戦略インデックス、グローバル国債先物バスケットインデックス、米国国債先物ロール戦略インデックス、欧州国債先物ロール戦略インデックス及び英国国債先物ロール戦略インデックス（本段落において以下「インデックス」といいます）はGSIに排他的に帰属しますが、インデックスの管理・計算についてはスタンダード&プアーズ（以下「S&P」といいます）に委託しております。S&P及びその関連会社は、インデックスの計算に際して間違いまたは過失に対し責任を負うものではありません。先物指数への投資のリスクおよび免責条項の詳細については、「特別勘定のしおり」を必ずご覧ください。

■当資料は当ファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、アムンディ・ジャパン株式会社が作成した資料です。■当資料は各種の信頼できる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料中の運用実績等は過去の実績および結果を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

設定・運用は　**アムンディ・ジャパン株式会社**

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、東京海上日動あんしん生命保険株式会社はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

MEMO

MEMO

ご負担いただく費用について

この商品にかかる費用は、運用期間中の下記「保険関係費用（保険契約管理費）」、「資産運用関係費用（資産運用管理費）」および年金支払期間中の下記「保険関係費用（年金管理費）」を合計した金額となります。また、運用成果を確保した場合は運用成果確保時費用が、運用成果を確保する前に解約・積立金の一部引出をした場合は解約控除が、経過年数に応じて別途かかります。

	項 目	内 容	費 用	備考（適用時期等）
運用期間中	保険関係費用 （保険契約管理費）	新契約成立および維持管理等に必要な費用（基本保険金額を最低保証するための費用等を含みます）	年率**2.78**%	特別勘定の純資産総額に対して左記の年率／365日を乗じた額を毎日控除します。
	資産運用関係費用*1 （資産運用管理費）	保険関係費用（保険契約管理費）以外で、特別勘定の運用にかかる費用（信託報酬率を記載しています）	年率**0.19418**% （税込）程度	特別勘定の投資対象となる投資信託等の純資産総額に対して左記の年率／365日を乗じた額を毎日控除します。
運用成果確保時	運用成果確保時費用	契約日から1年以上6年未満に運用成果を確保した場合にかかる費用	**5.0**%～**1.0**%	契約日からの経過年数に応じ、基本保険金額に左記の率を乗じた額を積立金額から控除します。
解約・積立金の一部引出時	解約控除	契約日から6年未満に解約もしくは積立金の一部引出をした場合*2にかかる費用	**6.0**%～**1.0**%	契約日からの経過年数に応じ、基本保険金額*3に左記の率を乗じた額を積立金額（積立金の一部引出の場合は一部引出額）から控除します。
年金支払期間中	保険関係費用 （年金管理費）	契約の維持管理等に必要な費用	**1.0**%以内	年金支払開始日以降、年金年額に左記の率を乗じた額を毎年の年金支払日に責任準備金から控除します。

*1 資産運用関係費用は、投資信託（外国投資法人を含む）の信託報酬率の合計を記載しています。信託報酬の他、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託（外国投資法人を含む）の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者さまはこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

*2 運用成果を確保した後の積立金の全額引出・一部引出には解約控除は適用されません。

*3 積立金の一部引出の場合は、一部引出により減額される基本保険金額となります。

投資リスクについて

この商品は、将来受け取る年金額、解約払戻金額、死亡保険金額等が特別勘定の運用実績に基づいて増減するしくみの生命保険（変額個人年金保険）です。特別勘定は実質的にデリバティブ取引等を活用して国内外の株式・債券等の値動きに連動することを目指す投資信託に投資されますので、ご契約者は収益を期待できる一方、株価や債券価格等の下落・金利や為替の変動等の投資リスクも負うことになります。そのため、運用実績およびご負担いただく費用により、解約払戻金等のお受け取りになる金額の合計額が、一時払保険料の額を下回り、損失が生じるおそれがあります。また、積立金の自動移転が生じた場合には、特別勘定の種類によっては投資リスクが異なることとなりますのでご注意ください。

ご注意いただきたい事項

■ 変額個人年金保険GF(Ⅳ型)<年金原資保証特約(Ⅳ型)付加>は東京海上日動あんしん生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険です。預金とは異なり、元本保証はありません。また、預金保険制度の対象ではありません。

■ 変額個人年金保険GF(Ⅳ型)<年金原資保証特約(Ⅳ型)付加>は運用期間満了時点で積立金額が基本保険金額（一時払保険料相当額）を下回った場合には、基本保険金額（一時払保険料相当額）の100%が年金原資として最低保証されます。ただし、年金原資が保証されるためには、運用期間（契約日から10年間）満了まで運用いただくことが必要です。運用期間中に解約・積立金の一部引出をした場合の解約払戻金額には最低保証はありません。

商品の内容に関しては「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」等をご覧ください。

【募集代理店】

【引受保険会社】

東京海上日動あんしん生命保険株式会社
ホームページ https://www.tmn-anshin.co.jp/

ご契約内容・各種手続きに関するお問合せ

0120-155-730

受付時間　平日　9:00～17:00
（土曜・日曜・祝日・年末年始を除きます。）